

駿河台大学大学院（修士課程）3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー

駿河台大学大学院（以下、本大学院という）は、建学の精神「愛情教育」を基本理念とした教育を通じて、各研究科及び各専攻の教育目的・目標に定める人材を育成することを目的としており、各研究科及び各専攻が定める大学院学則別表第Ⅰのカリキュラム表に示される各科目群の修了要件を満たし、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること、すなわち、下記1～3の要件を満たしたときに学位を授与します。

- 1.自己の専門分野に関する高度の専門的知識・能力・技能を身につけていること。
- 2.本大学院及び各研究科の教育目的等に沿って定められた大学院学則別表第Ⅰに示される修了要件を満たすこと。
- 3.必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び試験に合格すること。

カリキュラム・ポリシー

本大学院は、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次の方針のもと、各研究科及び各専攻において、体系的な教育課程を編成・実施するとともに、同ポリシーの各要件の評価を総合的に行います。教育内容、教育方法、評価については以下のとおりです。

- 1.教育内容
 - (1) 本学建学の精神である愛情教育に基づくカリキュラムを編成する。
 - (2) 本学、各研究科及び各専攻の教育目的・目標を達成できるカリキュラムを編成する。
 - (3) 本大学院の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。
 - (4) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養する教育課程を編成する。
- 2.教育方法
 - (1) 講義、演習等を体系的に組み合わせた授業を通じて、専攻分野に関する高度の専門的知識・能力・技能を培う。
 - (2) 関連する専門分野の複数の教員が論文作成等の研究指導及び審査を行う体制を確保する。
- 3.評価
 - (1) 各科目のシラバスに定める成績評価に基づいて評価する。
 - (2) 各研究科の定める学位論文審査基準に基づく修士論文の審査及び試験を行う。

アドミッション・ポリシー

建学の精神である「愛情教育」のもとで高度な専門的知識を学ぶ中で、卓越した見識と能

力を身につけ、高度専門職業人として地域社会の諸活動の中で中核的役割を担おうとする学生・社会人を求めます。

大学院教育は、大学等における学びの基礎の上に成立しますので、以下のことを求めます。

1. 学士課程相当の専門的知識・能力・技能を身につけている。
2. 各研究科及び各専攻で必要な深い学識を身につけたいという意欲と態度を有している。
3. 各研究科及び各専攻で身につけた専門的知識・能力・技能を社会に還元しようとする意欲と態度を有している。

各研究科及び各専攻では、以上のような入学者を選抜するため、多様かつ総合的な評価による入学者選抜の機会を設けます。

[2023年4月改定]